

第 166 回みよしグリーンサポート隊

自然体験教室

1. 日時： 2026 年 2 月 14 日 ((土) 午前 9 時～11 時 30 分
2. 場所：トラスト第 14 号地 C・D 地区
3. 参加者：13 名 (役場 5 名) イベント参加者 申込み 28 名+父兄 32 名+兄弟 4 名 計 64 名

刈込隊

2 月 10 日(水)3 名

今週の 14 日(土)に自然観察会を開催するので、会場の確認と安全確認を行った。会場の落ち葉掃きを予定している頭上に少し太い枝が枝かかりしていたので、長枝切りを使って除去した。その他には安全上の問題はなかった。受付、工作実施、駒打ち、伐採及び枝落しの場所の確認をした。駒打ち用の樹木の幹に駒打ちをする穴を開けた(30 本)子供たちが穴を開けける個所 8 か所程度(1 本あたり)に黄色のチョークでマークをした。事前準備はできたので当日不測の事態が起きないように充分留意して実施することを確認した。

用意した 30 本のホダギ

ホダギに駒打ち用の穴を開けています



自然観察会

スタッフは午前 8 時 30 分までに会場に集合し、事務局から本日の進行について説明を受ける。会場の準備



全員集合、今日のイベントの説明をしています。伐採作業を目の前で実施

参加者が多いので、Aグループ、Bグループの二班に分け、スタッフも夫々担当グループに分かれ、伐採・枝落とし体験⇒ホダギ作成⇒クラフト体験⇒休憩⇒全員で落ち葉掃き体験 適宜スラックライン体験 約3時間弱で終了。15年程度経過したクヌギを伐採し、子供も一緒にロープをかけて倒します。倒れた木の枝をノコギリで枝落としをしました。ほとんどの子が初めての体験でしたが、慣れてくるとノコギリもうまく使えるようになり、夢中で次々と枝を切っていました



枝落とし作業を体験



駒打ち用の穴をシイタケハンマーで開け、シイタケ菌のうつ込みをしました



ホダギ作成はシイタケハンマーを使って上からトンカチでたたいて駒打ち用の穴を開けました。とても上手にできました。その後、シイタケ菌をゴムハンマーで穴に打ち込んでもらい、できたホダギは各自持ち帰りました。シイタケができるまでには1年以上掛かります。クラフト体験は輪切りにした台木にクヌギなどのドングリにトトロを描いて松ぽっくりと一緒に接着します。28個の個性あふれる工作ができました。



落ち葉掃きは全員が熊手を使って落ち葉を集め、それを八本と言われる大きな竹かごに入れます。竹かごに入れた落ち葉を子供たちが中に入って踏み固めます。順番に中に入り、服が汚れるのもかまわず中で跳ね回ります。ご父兄の方ももう仕方ないという顔でした。八本と言われる竹かごは三芳町で江戸時代から使われる竹かごで、今は製作できる職人がいません。落葉で一杯になった竹かごは横に倒して転がして堆肥置き場まで運びます。中の落ち葉は出てきません。それを堆肥置き場で反転して落ち葉を積みます。それを人が踏みつけて固めます。この時、子供たちは大喜びで落ち葉のベッドで飛び跳ねたり、寝転がったりと大はしゃぎです。中には首まで落ち葉に埋まって遊んでいる子もいました。止めないと終わらない状況でした。子供の感性はすごいです。



3時間近く経過してすべての予定を終了して終わりました。最後に皆さんに感想を聞くとどの子も楽しかったと言ってくれました。スタッフの皆さんも安堵した様子で、お世話したスタッフも楽しい一日でした。夏は体験内容を変えて7月に実施の予定です。また、多くの子供たちが参加してくれように願っています。自然体験教室は三芳町に残る身近な貴重な緑を五感で感じてもらい自然を守っていくことが大切なことを知って大切にして将来につないで欲しくて実施しています。